



平成 25 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 日本海洋掘削株式会社
代表者名 代表取締役社長 村田 稔
(コード番号: 1606 東証第一部)
問合せ先 経営企画室担当室長 谷内正彦
(TEL. 03-5847-5862)

「HAKURYU-11 (仮称)」の新規掘削工事受注について

当社は、予めから現在シンガポールにおいて建造中のジャッキアップ型リグ「HAKURYU-11」(仮称)に係わる受注活動を展開しておりますが、今般以下のとおり掘削工事契約を締結することに合意しましたので、お知らせいたします。

1. 掘削工事契約の概要

- (1) 契約先 : Conson Joint Operating Company (以下、Conson 社) (注)
- (2) 操業海域 : ベトナム社会主義共和国ブンタウ沖
- (3) 契約坑数 : ファーム 1 坑 (約 100 日) + オプション 7 坑
- (4) 作業開始時期 : 平成 25 年 6 月頃 (予定)
- (5) 作業料金建て : 日割作業料率方式
- (6) 契約締結日 : 平成 25 年 2 月中 (予定)
- (7) 受注金額 : 約 17 百万米ドル (ファームのみ、見込み)

(注) 契約先 Conson 社は、ベトナム PetroVietnam Exploration Production Corporation が 44.4%、マレーシア Petronas Carigali Overseas Sdn. Bhd. が 44.4%、インドネシア Pertamina が 11.2%それぞれ出資しているホーチミン市所在の石油開発会社であります。

2. 業績に与える影響

本掘削工事契約による売上等は来期に計上する予定でありますので、今期の連結業績に与える影響はありません。

【本開示資料ご利用にあたっての留意点】

本発表資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、種々のリスク、不確実性および前提・仮定を内包しております。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。

これらの情報は、発表時点で入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいておりません。実際の業績は、これらのリスクや不確実性が顕在化しあるいは現実が前提・仮定と異なった場合、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみには全面的に依拠することは控えられますようお願いいたします。

また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。

実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) 当社の事業領域を取り巻く環境、特に原油・天然ガス価格の動向、国営あるいは民間の石油開発会社による探鉱開発活動の動向ならびに同業者間の競争やリグの需給関係
- (2) 客先による工事発注のキャンセルや工事契約の早期解約
- (3) 事故、災害、不可抗力等による作業の中断や工事契約の早期終了
- (4) 造船所でのリグ設備の保全・増強工事等の工期遅延や工事費用の増加
- (5) 海外での事業展開に伴う現地での政治的・経済的要因、戦争・暴動・テロ等の社会的混乱、その他のカントリーリスクによる不利な影響
- (6) 為替レートや金利の変動
- (7) 公的規制の改訂、変更等および訴訟等の法的手続の結果

以上